

飯岡地区において、町が検討している内水排除対策に、美作岡山道路の建設に伴う内水への影響を考慮するため、昨年の豪雨を含む過去の浸水実績も踏まえ、県と町が連携し測量成果をもとに、内水による浸水対策の検討を進めていきます。

本号では、内水による浸水対策の具体的なイメージをお伝えするため、代表的な事例を紹介します。

● 内水による浸水対策の事例 ●

排水機（ポンプ）により排出

一時的に釜場に水を貯めて排水機（ポンプ）により、内水を強制的に河川へ排水します。

新たに排水機（ポンプ）を設置するため、施設が大規模で整備期間も長くなりますが、広範囲の内水を排出することができます。

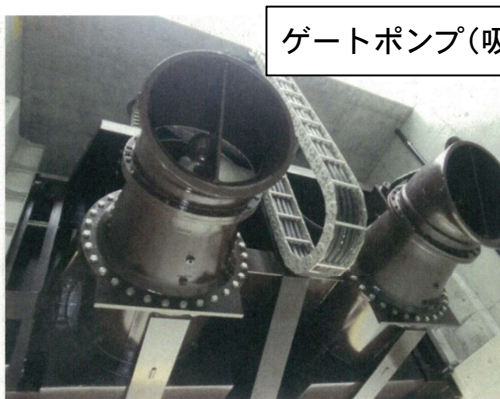
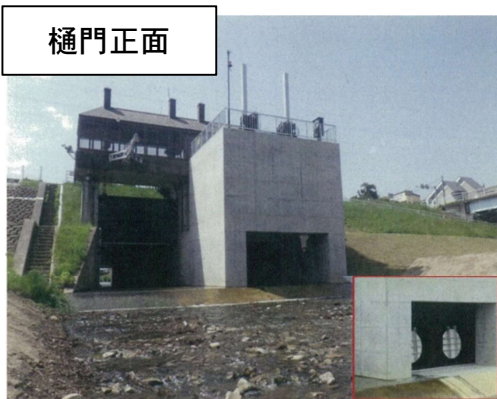


[和気町佐伯地区の排水機(ポンプ)、美岡だより第1号で紹介した事例]

ゲートポンプにより排出

樋門のゲートに水中ポンプを直接取り付けられた型式で、このゲートポンプを運転することにより内水を強制的に河川へ排水します。

既存の樋門を活用して設置するため、施設がコンパクトで整備期間も短くできます。



出典：国土交通省ホームページ（阿武隈川で初！排水ポンプゲートが稼働します）

内水を一時的に貯留する調整池

平常時は公園、駐車場などとして利用し、豪雨時に一時的に内水を貯留します。



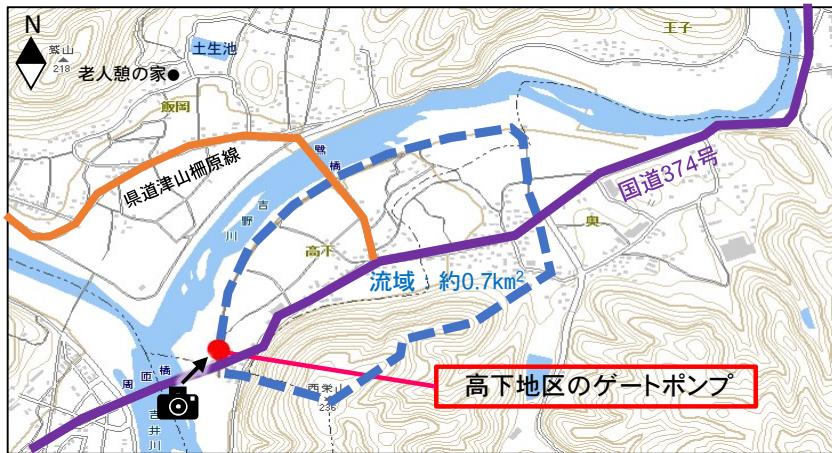
平常時はテニスコートとして利用される調整池の事例

出典：国土交通省ホームページ
（水害レポート2017）



本号では、飯岡地区対岸の高下地区において、令和元年6月に内水を強制的に排出する「ゲートポンプ」の設置が完了した事例を紹介します。

● 高下地区のゲートポンプ ●



背景図：国土地理院ホームページより (<http://maps.gsi.go.jp>)

平成30年7月豪雨時の内水の状況



吉井川の水位が高くなり、ゲートを開いたため、内水を排除できない。

設置前の状況



設置後の状況

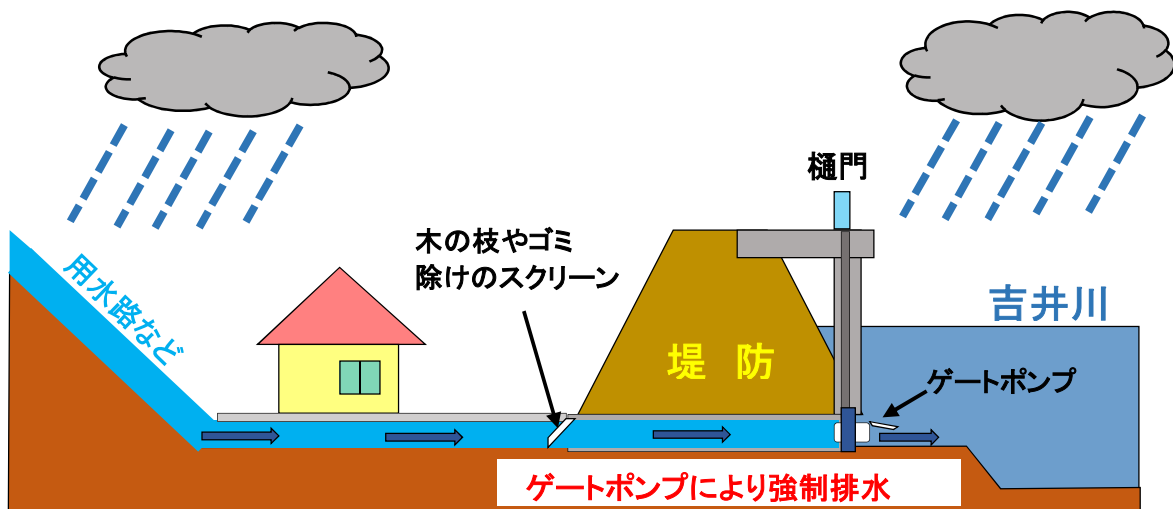


吉井川の水位が上昇しゲートを開いても、内水排除できるようになりました。



● ゲートポンプのイメージ図 ●

高下地区のゲートポンプは、小学校の25mプール(長さ25m×幅15m×深さ1.2m)の水量を約13分間で排出できる能力を持っています。



吉井川の水位が高い場合でも、ゲートを閉じた状態で強制的に内水を排水することができます。